

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~4日	7月 ~11日	7月 ~18日	7月 ~25日	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日	8月 ~29日	9月 ~5日	9月 ~12日	9月 ~19日	9月 ~26日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	37	39	30	16	34	18	11	14	8	6	12	8 (14)	11
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	24	13	19	7	16	9	2	10	8	7	12	7 (12)	6
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	4	3	2	1	2	11	1	5	4	0	3	2 (3)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	8	4	3	2	0	4	1	5	5	9	4	2 (3)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	5	6	3	0	5	5	2	5	2	2	2	5	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	0	0	0	1	0	0	2	1	4	1	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第38週(9月20~9月26日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			3		3		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3
四類	5	日本紅斑熱	3			2			1	
		レジオネラ症	2							2
五類	10	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1							1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1						1	
		梅毒	7			1		4		2
新型コロナウイルス感染症	267	新型コロナウイルス感染症	267	15	21	17	1	171	8	34

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdo/>

新型コロナウイルス感染症

第38週に171件の報告がありました。報告数は減少が続いていますが、10万人当たりの1週間新規感染者数は14.3人(9月27日発表)と、広島県の警戒基準値(4.0人)を大きく上回っています。また、今回の波の傾向として、高齢者の占める割合が低い状態で抑えられています。これは、ワクチン接種が進んだためと考えられます。

手洗いや換気、マスク着用などの感染防止対策を徹底し、感染を確実に抑え込みましょう。また、ワクチン接種後においても、感染する可能性がありますので、感染対策を継続しましょう。

患者の同居家族に対する新型コロナワクチンの効果(広島県調査)

	調査対象(人)	感染者(人)	感染率
未接種者	1,357	511	37.7%
1回接種者	104	29	27.9%
2回接種者	379	51	13.5%

同居家族に対する
 ワクチン2回接種の有効性※
64.2%

$$\text{有効性} = 1 - \frac{\text{2回接種者の感染率}}{\text{未接種者の感染率}}$$



【調査対象】

- 令和3年8月に県保健所管内で発生した患者(752人)の同居家族1,840人
- 同居家族1,840人のうち、591人(32.1%)が上記家庭内初発者から感染
- 752軒の家庭は、2人家族が190軒、3人以上の家族が562軒
- 家族全員が感染した家庭(2人家族を除く)は、7人家族2軒を含め、99軒

ワクチン接種の効果(感染予防)

- ワクチン2回接種者は、ワクチン未接種者と比べ濃厚接触したとしても感染する確率が2/3減少

【詳しくはこちらをご覧ください】

ワクチン接種の効果等[R3.9.22会見](広島県) <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20210922.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	-	-	0.14		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.18	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.18		眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	1.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	1.16			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	56	2.33	3.27			流行性角結膜炎	5	0.63	0.75	
	水痘	3	0.13	0.28		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	19	0.79	1.45			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	4	0.17	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	21	0.88	0.41			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	増減	微増減	横ばい
前週と比較しておおむね1:2以上の増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜浮腫 眼結膜の発赤・腫脹 結膜周擁充血	30	2021/04/21	結膜擦過物	Aデノウイルス85型
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	1	2021/07/12	糞便	Aデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.4℃)	0	2021/01/28	糞便	Aデノウイルス53型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載